

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	34件	34,000円	213件	255,000円
財団	0件	0円	11件	187,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	112,000円
米山	0件	0円	9件	140,000円

本日のプログラム

<招聘卓話> 米山奨学生 シャブカティール君



自己紹介

1998年1月 新疆ウイグル自治区生まれ
 2016年10月 来日、千駄ヶ谷日本語学校入学
 2018年4月 日本映画大学入学 在学中



今回の卓話は「The Arts of Film Making～映画作りの魅力」をテーマに、自分の専攻を紹介します。

私は、なぜ日本で映画を勉強したいのですかと聞かれます。それは、アメリカやヨーロッパの映画学校と比べると、映画の専門教育が安く受けられるからです。ランク1のアメリカの学費は日本円で約670万円位しますが、日本だと188万円位です。また、なぜ中国で勉強しないのかとも聞かれます。中国の映画学校はもっと安いのですが、50,000人の希望者に対して30人の選考と、競争が激しいからです。

視覚技術を学ぶ事は、世界に複雑さや文化の多様性を明解にする助けになります。映画のストーリーを作る過程を見て分析して、生活そのものの分析力、コミュニティー力が身に付き、より面白い人間になれると思います。

●映画作りの流れ

1. 企画書…テーマ、アイデア、タイトル、ストーリー、制作の資金調達、スケジュールなど、映画を作りヒットさせるための計画・企画を立てる。
→監督・プロデューサー
2. シナリオを作る…映画の大事な脊髄。
→脚本家
3. 準備…演出部・美術部・技術部(関わる人が多い)
 - ・演出部 ラインプロデューサーはスケジュールや予算の管理、キャスティングディレクターは監督のイメージする出演者の出演報酬やオーディションなど。
 - ・美術部 美術監督は映画の世界観を作り出す。衣装担当はキャストの衣装を作ったり、用意する。
 - ・技術部 カメラマンは世界観を映し出す。録音技師はセリフや効果音など映像効果を最大限にみせる。編集技師は膨大なカットをシナリオ流れに沿って一本の映画に仕上げる。照明技師は照明でシーンのムードや印象美を演出。

～カティール君が照明技師をした作品の視聴～

4. 撮影…現場
5. 仕上げ…録音、編集
録音は映画に必要な効果音を表現、編集はCGの合成など実際には撮影不可能なシーンに視覚効果あたえていく。
6. 完成…映画づくりに関わった人すべてにお披露目されます。自分達で作った作品がスクリーンに映し出される達成感は格別です。



ロータリアンの皆さんに大変感謝しています。優秀な作品を作って世界に発信し、奉仕の精神を日常生活で実行し、平和な世界に貢献したいです。

卓話後、質問コーナーが設けられ、映画や育った中国やウイグル地区、また日本と中国の違いなどについて話されました。



<点鐘>

古澤会長